



感染予防と悔いのない看取りを…

新型コロナウイルスによる感染対策のため、各施設や病院では感染拡大防止策として、人の出入りを抑制し面会できないのが現状である。しかし、ターミナル期においては、家族が最期まで一緒にいられる環境づくりをすることがとても大切である。特に看護小規模多機能型居宅介護は「通い」「泊まり」「訪問看護・介護」のサービスを臨機応変に組み合わせている。感染対策には 家族や家族を取り巻く環境にも十分配慮する必要がある。また、医療処置を要する利用者が多く、点滴の管理や胃ろう、頻回な吸引が必要な利用者は、施設での受け入れが困難となり、退所に迫られて入所してくるケースが多い。介護職にとっても 心労が絶えない現場である。

そのため、職員は定期的なカンファレンスや勉強会等を実施し、利用者の状態に応じたケアをするため、計画書の見直しや変更、立案等を行い、看護師と介護職が常に連携を図り、役割を分担して情報を共有しながらケアを行っている。

「感染しない・させない」を徹底し、更なる感染対策として、看護師が中心となり「感染対策委員会」を立ち上げ、職員への教育、感染防止対策を徹底して行い、看取り期の利用者が家族と一緒に過ごせる時間が持てるよう、環境には十分配慮し、家族と一緒にケアを行い、悔いのない看取りを行うことが大切である。

Mさん 87歳 女性 は、特別養護老人ホームに入所中に尿路感染や誤嚥性肺炎になり、病院に入院する。新型コロナウイルスによる感染対策のため、家族は面会できず、本人も家族に会えないため食事量も減り、点滴や吸引をしている状態であった。退院の目途はついたものの、夜間に吸引ができない施設には戻れず、娘より『ケアホーム希望』に相談があった。どのようなサービスが必要なのか検討するため、「泊まり」のサービスを開始した。家族からは「高齢なので、いろいろなことはしないで、自宅に帰り、夫との2人の生活ができるように支えていきたい」とのことであった。自宅で安全に生活ができるよう、食事の形態や摂取方法を検討し、口腔ケアや吸引、清潔を保つための おむつ交換や陰部洗浄、清拭を家族に指導しながら、感染予防に努め、ケアは 家族と一緒にいった。頻回に吸引や口腔ケアをしても、唾液による垂れ込み等で誤嚥性肺炎を繰り返し『ケアホーム希望』でも 点滴を行ったが、日々 衰弱していった。

自宅に帰るという目標は 叶わなかったが、家族と一緒に過ごした 約 3ヶ月は穏やかに 過ごすことができた。

最期は、家族に見守られ 天国へと 旅立って逝った。

～ 娘さんからのメール ～



母が旅立ってからあっという間に1ヶ月が過ぎました。その節は、本当にお世話になりました。時が過ぎても母がいなくなった寂しさは募るばかりですが、職員の皆様のおかげで 悔いのない看送りができたこと、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

面会禁止

新型コロナウイルス感染症
による患者様や職員
の感染予防のため、
当面の間、
原則、面会禁止と
させていただきます。



ケアホーム希望
食しポ 日誌

コロナ禍でも 毎日の食事から
心も身体も元気に!



こりゃ〜
おふくろの
味だよ



みんないつも
残さずに食べて
いるよ!



私が皆さんのお食事を
担当しています!

お味は…
いかがですか?

俺も残さず
食べれるよう
になったから
肌がツヤツヤだよ



春の季節料理



山形メニュー
(しほ煮)



ひな祭り



うわあ〜
豪華!



敬老会は祝御膳